

第3回

レジリエンス研究教育推進コンソーシアムシンポジウム

新型コロナウイルス感染症に学ぶ
(COVID-19)
これからの  のあり方

今般の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応においては、感染症のみならず、経済・心理・政治・情報の様々な側面からコロナ禍について俯瞰し、大局的見地から判断することが求められている。特に、感染症対策と社会経済活動のバランスを取ることが必要である。しかし現実には、感染症対策、社会経済活動、メンタルヘルス対策、国家レベルのパワーバランス等をはじめとする様々な面に深刻な影響がもた

らされ、それらに対する対策が別個に論じられているため、COVID-19の影響を大局的見地から俯瞰した確固たる対策を確立することが困難な状況にある。

そこで今回のシンポジウムでは、本コンソーシアムが目的とするレジリエンス社会の実現のために、COVID-19に係るこれまでの社会的行動を通して、VUCAの時代における「想定・対応・回復」について考えていく。

開催日時 2021年 **2月3日**  13:30~16:40

開催方法 オンライン(Zoomウェビナー)  定員なし

参加無料
要事前申込

総合司会 面 和成 筑波大学システム情報系 准教授

第1部 講演

- 13:30-13:35 開会挨拶
岡島 敬一 筑波大学システム情報系 教授
- 13:35-14:05 講演① 「COVID-19 がもたらした医療現場の変化(仮)」
鈴木 恭子 順天堂大学医学部 助教(医師、附属練馬病院小児科)
- 14:05-14:35 講演② 「今こそ真剣に取り組む事業継続: COVID-19 に対するBCP/MJ」
長瀬 貫隆 一般財団法人DRI ジャパン 理事長
- 14:35-15:15 講演③ 「地域経済と両立する COVID-19 感染予防策の検討」
倉橋 節也 筑波大学ビジネスサイエンス系 教授

第2部 パネルディスカッション

- 15:15-16:30 パネルディスカッション
「New Normal を見据えたリスク・レジリエンスのあり方」
モデレーター 遠藤 靖典 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 副会長(筑波大学)
登壇者 各講演者
- 16:30-16:40 閉会挨拶
林 春男 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 会長(防災科学技術研究所)



順天堂大学・鈴木



DRIJ・長瀬



筑波大学・倉橋

申込締切 2021年1月31日(日) 事前登録申込QRコード

